キャラクター名
久遠 不一止(くおん ひずみ)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル サラマンダー	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	アーティスト
オプショナル	バロール	年齢	26(外見年齢)	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	35 %
出自	安定した家庭	経験	被害者	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	1	0	0			1
精神	1	1	0			2
社会	2	0	0			2

HP	75
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	2		調達	6	
運転：			芸術：			知識：抽象画	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
クリスタルシールド	15	12			R1P185

合計装甲：	12	合計回避：	0

所持品

ウェポンケース	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
屍人（リヴィングデッド） LMP90	P	N		
霧谷 雄吾	P 有為	N 無関心		
作品	P 執着	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
異形の刻印 9	9	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： 最大HP+[LV*5] EAP65								
崩れずの群れ 1	1	2	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	-	
効果： ｶﾊﾞｰﾘﾝｸﾞを行う 行動済にならない EAP67								
氷盾 3	3	3	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	-	
効果： G値+[LV*5] EAP107								
氷河の壁 2	2	3	ｵｰﾄ	至近	範囲(選択)	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果： 《氷盾》と同時に使用 被ダメ-10 シーンLV回 BCP66								
魔人の盾 2	2	4	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	-	
効果： G値+[LV*10] EAP33								
孤独の魔眼 2	2	4	ｵｰﾄ	視界	参照	自動	-	
効果： 対象:範囲/範囲(選択)を単体(自分)に変更 EAP30								
異形の加護 1	1		ｵｰﾄ					
効果： 被ダメ軽減と同時に使用 更に-3d R1回 RWP								
	1		ｵｰﾄ					
効果：								
命のカーテン 2	2							
効果：								
デモンズウェブ 4	4							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								

◇成長案
・命のカーテン(2)+デモンズウェブ(4)(被ダメ-[LV+1]d/射程10m/シナリオLV回+R1回)
・スプリングシールドor鋼の氷(HR)(2)(G値+10/シーンLV回)
・デビルストリング(2)+デビルスレッド(BC)(2)(オート打消し/シナリオLV回)
・異世界の因子(1)(コピー/シナリオ1回)
・異形の加護(RW)(1)(「被ダメ-〇点」同時使用で更に-3d/R1回)
⇒命,氷河,守護,斥力と噛み合う
・氷河の壁(BC)(2)(《氷盾》/被ダメ-10/シーンLV回)
・氷の城塞or虚無の城壁(2)(セットアップ係数3自身被ダメ軽減)
・氷雪の守護(2)+吹雪の守護(1)+ダイアモンドダスト(1)(範囲選択被ダメ-[LV+1]d-3d/R1回)
・グラビティテリトリー(HR)(2)(HP+[LV*7])
・斥力障壁(4)(視界単体被ダメ-[1d+LV*3]/R1回)
・特異点定理(2)(《孤独》中G値+LVd/シナリオLV回)

ガード型　スヴェル（北欧神話）を取り入れた演出がしたい　※紫は「独占」の象徴
「"スヴェルと呼ばれしは太陽の前に立ちし物、輝く神の前に立つ盾"――なーんて言うけれどさあ、僕の前に立ってるのはどう見ても、神の足元にも及ばない小物なんだよねえ」
「こんなに素晴らしい作品、価値も分からないような奴にまで平等に分け与えるだなんて勿体無いじゃないか。ここはひとつ、高い審美眼を持つ僕が余すところなく楽しんであげよう」
「あー……腕、□げちゃったじゃないか。治すの結構手間なんだよ？」「不死の身体になったとはいえ、死にたがりってわけじゃないんだよ」
「僕を除け者にして楽しもうだなんて狡いなあ」「やっぱり芸術は爆発！だよねえ」「つまらないものを見せないでおくれよ」